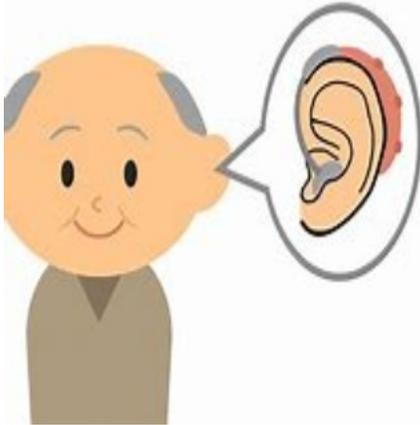




## 第一回定例会の報告



耳が聞こえにくいと、日常生活に大きな困難が。でも、補聴器が高額で困ります。

# 補聴器購入費補助実施を品川でも 港、大田、目黒、世田谷など23区で16区が実施

約一カ月の予算議会が3月25日に終了しました。品川区議会には住民の方々から多くの請願・陳情が提出され、事業の実施を品川区に求める（採択）か、求めない（不採択）かが採決されました。そこで補聴器補助の陳情を紹介します。

### 6回目の提出

今回の区議会に提出された「補聴器補助を求める陳情」では、多くの高齢者が難聴になり高額な補聴器が必要になる中、23区で16区が助成金を出している事も受け、品川区でも補助制度の実施を求めるもの。補聴器補助の実施を求める請願・陳情は2019年にはじ

めて提出されて以来、今回で6回目となります。しかし、品川区は「補助制度を創設する考えはない」と頑なに拒否しています。

### 自、公らの反対で今回も否決に

自・公らは「補聴器の必要性は十分理解している」と述べながら、この陳情を不採択にしました。理解を示すなら、なぜ補助制度の導入に反対するのでしょうか。区の頑なな姿勢とあわせて、自民、公明らの今回で6回連続の反対も大問題です。賛成は共産の他に、ネ・立・維と10人に広がりましたが賛成少数に。引き続き実施へ頑張ります。

# ロシアによるウクライナ侵略に 抗議する決議が全会一致で可決

3月7日の本会議にてウクライナ侵略に抗議する決議が全会一致で可決されました。

これは、共産党区議団が3月3日の議会運営委員会に決議案を提案し、正副議長の調整のうえ、品川区議会議員全員が提出者となり、可決されたものです。

決議文は、ロシアによるウクライナへの侵略を国連憲章違反と断罪し、核兵器の使用は許されないと指摘。侵略行為を厳重抗議し、完全かつ無条件での即時撤退を求める内容です（下参照）。

「ウクライナに平和を」などの声が、品川区議会を大きく動かししました。

ロシアは、去る2月24日にウクライナへの侵略を開始し、軍の攻撃による一般市民の犠牲が拡大している。

国の主権や人々の自由、生命を踏みにじる武力行使は、断じて許されるものではない。ウクライナへの侵略は、国際社会の平和と秩序、安全を脅かし、国連憲章に違反する行為である。また、核兵器の使用を示唆し他国をけん制する行為は、非核平和都市を宣言する品川区として許すことはできないものである。

よって、品川区議会は、ウクライナへの侵略行為に対し厳重に抗議するとともに、ロシアに対して軍を完全かつ無条件で即時に撤退させるよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月7日 品川区議会

## 品川区がはじめて言及 パートナーシップ制度「早期導入を検討」

予算委員会における質疑では、性的マイノリティーへの理解促進と差別禁止へ、パートナーシップ制度導入を紹介します。

民法では未だに異性婚のみが結婚の対象とされ、同性カップルの結婚が確立していません。これまでも日本共産党は同性婚を認める民法改正を提案するとあわせ、各自治体で始まっているパートナーシップ制度の導入を求めてきました。パートナーシップ制度とは自治体が結婚と同等の証明を宣言するもので、全国ではすでに100自治体以上が導入しています。同制度について、これまで品川区は「国や都を慎重に注視する」と述べていましたが、今回初めて「早期導入を検討」と言及。また、区営・区民住宅についても同性カップルを認めることを「検討」と発言。職員の結婚休暇や結婚給付金などの福利厚生についても、同性カップルを「検討」と発言しました。品川区がパートナーシップ制度導入とあわせて、住宅や休暇、福利厚生も含め差別をなくすことは、とても重要な事です。性の多様性を認め合う社会を。なかつか亮

なかつか亮 1975年西大井生まれ／46歳／伊藤小、富士見台中、農大一高卒／イタリア料理厨房6年／27歳初当選／区議5期／予算・決算委員会副委員長、行革特別委員会委員長を経験／党区議団幹事長／家族：妻／29号線取消裁判原告／趣味：旅行 

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅  
スタッフ募集：区政報告を駅前宣伝で配布して頂ける方を探しています。少しの時間だけでも助かります。